

先日は、手賀沼定例探鳥会にご参加いただき、ありがとうございました。観察会のレポートを作成しましたのでご覧ください。次回6月の「てがたん」は7月10日(土)で、「虫と食べ物」がテーマです。ご都合のつく方は、ぜひご参加ください。

*市民スタッフの方々へ 次回のとがたん下見&打ち合わせは7月3日(土)です。よろしく願いいたします。

6月の観察コースと内容

- コース：鳥の博物館→手賀沼遊歩道→水生植物園→手賀沼遊歩道→鳥の博物館
- 観察日時/天気 2010年6月12日(土) 10:00~12:00/晴れ
- 参加者 45名(一般28名、子ども17名)
- 市民スタッフ 9名(石原直子、岡廣志、玄地昭八、小泉伸夫、須貝基康、弘實さと子、古川克彌、湯瀬一栄、吉田一博)
- 鳥博職員 2名(塩田いづみ、村松和行)

観察記録 — 6月に観察した生き物リスト—

【鳥類】

カイツブリ科：カイツブリ/ウ科：カワウ/サギ科：アオサギ/キジ科：キジ/ウイナ科：オオバン/ハト科：キジバト/カワセミ科：カワセミ/キツツキ科：コゲラ(声)/ツバメ科：ツバメ/セキレイ科：ハクセキレイ、セグロセキレイ/ヒヨドリ科：ヒヨドリ/ウグイス科：セッカ、オオヨシキリ/シジュウカラ科：シジュウカラ/アトリ科：カワラヒワ/ハタオリドリ科：スズメ/ムクドリ科：ムクドリ/カラス科：ハシボソガラス、ハシブトガラス/外来種や家禽：コバクチョウ、ドバト

【魚類】 ギンブナ、ドジョウ、モツゴ

【両生類】 ニホンアマガエル、トウキョウダルマガエル、ウシガエル 【爬虫類】 アオダイショウ、カナヘビ

【甲殻類】 アメリカザリガニ、スジエビ 【その他】 コウガイビル(種不明)

【昆虫・クモ】

チョウ・ガの仲間：モンシロチョウ、スジグロシロチョウ、モンキチョウ、ヤマトシジミ、ルリシジミ、ベニシジミ、キタテハ、コムラサキ、クロアゲハ、キアゲハ、ジャコウアゲハ(幼虫)、ヒメジャノメ/甲虫の仲間：クロウリハムシ、ヤナギハムシ、イネミズゾウムシ、ハイイロゲンゴロウ、ナミテントウ、オオヒラタシデムシ/バッタの仲間：キンヒバリ、ヒメギス、ウスイロササキリ、ヒシバッタ(成虫)、ショウリョウバッタ(幼虫)、コバネイナゴ/カメムシの仲間：ヒメアメンボ、コムズムシ、マツモムシ、ツツジゲンバイ、ミズカマキリ/カマキリの仲間：チョウセンカマキリ、ハラビロカマキリ/トンボの仲間：コシアキトンボ、ヤゴ(種不明)/ハチの仲間：クマバチ、ハナアブの幼虫(種不明)

【花】

キク科：ノボロギク、セイヨウタンポポ、ハルジオン、ノグシ、オオジシバリ、ハハコグサ、ウラジロチチコグサ、ウスベニチチコグサ、ハキダメギク、トキンソウ/ナデシコ科：ウシハコベ、ツメクサ/ゴマノハグサ科：オオイヌノフグリ、ムシクサ、アゼナ、アメリカアゼナ、トキワハゼ、カワチシャ、ムラサキサギゴケ、トキワハゼ/スベリヒユ科：スベリヒユ/アカザ科：シロザ/アヤメ科：ハナショウブ、ニワゼキショウ、オオニワゼキショウ/ベンケイソウ科：コモチマンネングサ/キキョウ科：ミゾカクシ/ドクダミ科：ドクダミ/キンポウゲ科：ケキツネノボタン、キツネノボタン/アブラナ科：イヌガラシ、キレハイヌガラシ、スカシタゴボウ/カタバミ科：オウチカタバミ、カタバミ/アカバナ科：アカバナユウゲショウ/ヒルガオ科：ヒルガオ/マメ科：シロツメクサ/フウロソウ科：アメリカフウロ/ケシ科：ナガミヒナゲシ/バラ科：ヘビイチゴ/ツユクサ科：ツユクサ、トキワツユクサ/シソ科：ホトケノザ/イネ科：イヌムギ、スズメノカタビラ、スズメノテッポウ、チガヤ、ホソムギ、ネズミムギ、アオカモジクサ、カモジグサ、クサヨシ/イグサ科：クサイ/カヤツリグサ科：カヤツリグサ

6月の観察アルバム



今回のてがたんのテーマは「田んぼの生きもの」でした。カエルを中心に水田に暮らす水生生物を観察しました。カエルの天敵アオダイショウも観察しました。植物では多くのイネ科の花がみられたのが印象的でした。



今回の案内人：石原直子さん、岡廣志さん



①

みんなで目を凝らしながら水田の中を観察しました！



②

ニホンアマガエル

今回一番多く観察したカエルです。



③

イネミズゾウムシ

イネの害虫で体長3mmの小さなゾウムシです。



④

ミズカマキリ

名前はカマキリですがカメムシの仲間です。



⑤

クサイ

イグサ科の植物で、沿岸や水田の畦にたくさん咲いていました。

アゼナは在来種で水田の畦や湿った場所に生育します。葉に鋸歯（切れ込み）がなく、薬がついた雄しべが4つあります→



アゼナ



アメリカアゼナ

アメリカアゼナには鋸歯があり薬がついた雄しべが2つ、薬がない仮雄しべが2つあります→



6月の観察コースと見た生き物

●オタマジャクシを比べてみよう



↑トウキョウダルマガエル



↑ニホンアマガエル

水田にはトウキョウダルマガエルとニホンアマガエルのオタマジャクシがいました。ダルマガエルは背中の黒い斑がよく目立ち、アマガエルは背びれが眼の上部まで達しているのが特徴です。



⑩

ムシクサ

水田ではゴマノハグサ科の一年草を多く観察しました。



⑨

アゼナ

水田の代表的な植物です。アメリカアゼナとは葉で識別します。いですが湿った場所も好みます。



⑧

コモチマンネングサ

ベンケイソウ科植物は乾燥に強いですが湿った場所も好みます。



⑦

ウキシバ

水田雑草で、ランナーを匍匐させて水面を広げていきます。



⑥

手賀沼でザリガニ取りに挑戦しました！

シダレヤナギのさび病菌

*イラストは千葉県立中央博物館「おたまじゃくしのかんさつ」から引用させていただきました。

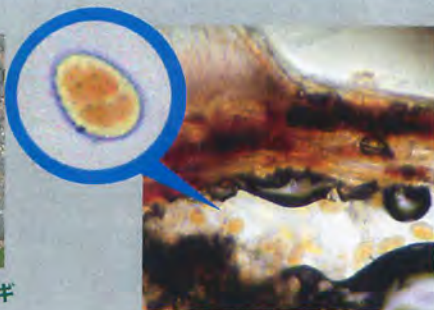
てがたんコースにはシダレヤナギがたくさ植栽されていますが、枯れかかった枝が目立ちました。

市民スタッフの竹本さんに協力してもらい、ヤナギの植物体内を顕微鏡で見てみると、さび病菌の胞子が表皮の内側にたくさん見つかりました。また、カビの菌糸が表皮から出ているのも観察できました。

今後はマクロな視点からの観察も必要ですね。



枯れかかったシダレヤナギの枝



表皮下のさび病菌の胞子



表皮に出てきたカビの菌糸